

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	一般財団法人 厚生会		
事業所の名称	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町1番20号		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	当会は、地球環境の保全に貢献するため、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努めます。 【基本方針】 1.事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全に取り組めます。 2.事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。 3.環境保全に関連する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	4,149 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.01621
	目標年度	2025 年度	目標排出量	4,107 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.01604
			削減率	1.01 %	削減率	1.04 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	3,985 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01584
			削減率	3.95 %	削減率	2.28 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	28.66 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	2024年5月の病院移転に向けて、外来の休診等での延患者数の減少により、重油、都市ガスの使用量が前年度より減少したため				
	第2年度	2024 年度	排出量	6,514 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.02534
			削減率	-57.01 %	削減率	-56.33 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	28.66 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	2024年5月の新病院開院により、新病院では延床面積の拡大による空調設備の増加および全病室個室化に伴う個別空調により設備の稼働範囲が広がり、エネルギー消費量が増加したことが今回の結果の要因と考えられます。				
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	85 %	目標年度	100 %
	第1年度	86 %	実施状況の説明等	来年度より病院移転により建物の仕様がかわるため、基本対策の見直しを実施しようと考えております。
	第2年度	82 %	実施状況の説明等	第2年度においても、空調設備の温度設定の見直し等の省エネ対策を継続的に実施した。また、病棟や外来部門における使用実態に応じた空調・照明の稼働時間の最適化を行い、運用面からの改善を進めた。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入	実施済
	外気冷房	実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	ボイラーの運転効率管理	実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理	実施済
	蒸気トラップの管理	一部実施済
	再熱除湿運転回避	実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理	実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理	実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御	実施済
	圧縮空気系統の保安全管理	実施済
	ポンプ、給水系統の保安全管理	実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保安全管理	実施済
	変圧器の負荷率管理	実施済
	デマンド管理	実施済
	負荷平準化	未実施

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	外出時に自転車を積極的に利用する。	未実施